

感染可能性判定フローチャート(事業所編)

職場内で陽性者が発生、他の職員が感染する可能性は？

感染の可能性がある期間

感染者が有症状の場合 症状が出現した日の2日前は 令和 年 月 日 ①

感染者が無症状の場合 検体を採取した日の2日前は 令和 年 月 日 ②

感染者との接触状況

感染者と最後に会った日は 令和 年 月 日 ③

感染の可能性がある期間に会った
(③が、①または②の以後の日)

いいえ

感染する可能性は低い

はい

いいえ

以下の濃厚接触はありましたか？

お互いにマスク無し、または感染者がマスクを着用せず、手が触れる距離で15分以上会話をした。
例) 会話しながら食事をした、換気の悪い室内で長時間の会議を行った、鼻マスクや顎マスクになっていてマスクを正しく着用できていなかった

はい

いいえ

以下の状況はありましたか？

- お互いにマスクを着用していたが、2m以内の距離で1日以上勤務した。
- 換気をしていない部屋で、1日以上同じ空間で過ごした。
- 同じフロアや会社で2名以上の陽性者が発生している。

1つでも該当有り

感染の可能性があります『濃厚接触者』

感染者と最後に会った日の翌日から、5日間の外出自粛と健康観察を行ってください。

検査を受けて陰性であったとしても、上記の外出自粛と健康観察をお願いします。

- ✓ 1日2回、検温と健康状態の確認
- ✓ 仕事を含めた不要不急の外出は控える
- ✓ 他の人との接触をしないようにする

外出自粛及び

健康観察終了日：令和 年 月 日 (③ + 5日)

接触者

外出自粛は必須ではありませんが、感染者と接触してから、5日間の健康観察と注意就業をお願いします。

万が一、症状が出てきた場合

症状が出てきた場合

受診の相談をしてください

かかりつけ医やお近くの医療機関にご相談ください。

- ✓ 濃厚接触者ではありませんので、かかりつけ医などへ事前に連絡の上、受診を調整してください

症状がある場合は、受診相談センターへご相談ください。

電話:0263-47-5670

